



車内の金城学院大学

77限目

「アパレル構成学」

8/8(土)・10/24(土)
オープンキャンパス開催!

「現代ファッションの父？」

[パリコレのルーツ]

19世紀までヨーロッパの上流階級では、衣服は顧客が生地や装飾品を選んで職人に依頼するオーダーメイドで作られていて、デザインよりも生地の良し悪しがステータスとなっていました。この状況を革命的に変えたのが、「現代ファッションの父」と呼ばれるシャルル＝フレデリック・ウォルト。ウォルトは自ら生地を選び、素材の良さを活かしながらデザインを考案し、季節ごとに新作を発表。その新作を専属のモデルに着せ、顧客に披露することで注文を取る、というビジネスモデルを発明しました。この革命は衣服におけるデザインの重要性を高め、ウォルトの新作発表会はやがて「パリコレ」といったファッションの祭典へと発展していったのです。このように、作り手自らがクリエイティビティを発揮し、発表する場が創られたことによって、ファッションは時代を鮮やかに彩る力を持つことになったのです。

デザインの力を学び、社会を彩る。それが生活環境学部 環境デザイン学科。

強く、優しく。



金城学院大学